

1. 整備基本計画策定の目的

(1) 目的

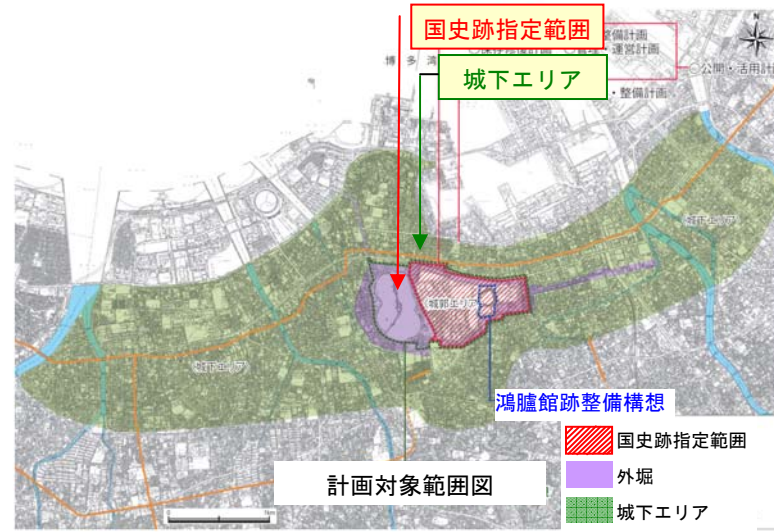
- ① 「国史跡福岡城跡」を適切に保存
- ② 確実に次世代にその歴史的価値を継承
- ③ 本市の歴史・文化・まちづくりへの寄与

(2) 想定期間

平成26年度～平成40年度までの15年間

(3) 対象範囲

- ① 「国史跡福岡城跡」の指定範囲
- ② 周辺環境整備のため城下エリアも対象



2. 整備の理念と方針

(1) 基本理念

- ① 福岡城を本市の歴史のおよび文化財保護の象徴とし、後世へ継承。
- ② 観光やまちづくり、文化財活用ネットワークの拠点化。
- ③ 魅力ある多面的な活用を市民一体となって推進。

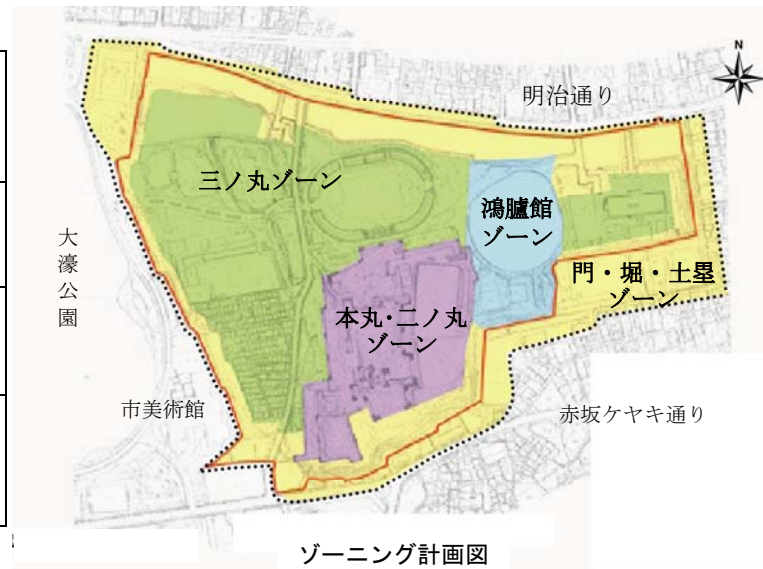
(2) 基本方針

- ① 復元対象時期は幕末期(史跡鴻臚館跡を除く)。
- ② 文化財的価値の保存と調和ある顕在化の推進。
- ③ 歴史の重層性をわかりやすく表現。
- ④ 史跡地内の現代諸施設の廃止・移転を推進。
- ⑤ 史跡と都市公園が調和した良好な景観を形成。
- ⑥ 学び、楽しめる空間や機能を整備。
- ⑦ 「ユニバーサル都市 福岡」の理念を配慮した整備。

3. 基本計画

(1) ゾーニング

(区分)	(整備の考え方)
本丸・二ノ丸ゾーン	・櫓等を重点的に復元整備 ・城郭としての景観形成と保全
三ノ丸ゾーン	・市民の活用と憩いの場づくり ・城の雰囲気を活かした空間形成
門・堀・土塁ゾーン	・外部からみた「城らしさ」の修景
鴻臚館ゾーン	・鴻臚館と福岡城双方の調和した景観形成 ・歴史の重層性を表現



4. 事業計画

(1) 段階的事業計画の推進

短期(5年)

『福岡城跡の骨格の顕在化による魅力発信と誘客』

- 復元：潮見櫓
- 修理：長屋門、多聞櫓、石垣
- 事業費：約20億円

中期(6～15年)

『福岡城跡の歴史の重層性の表現と歴史的景観及び利活用の充実』

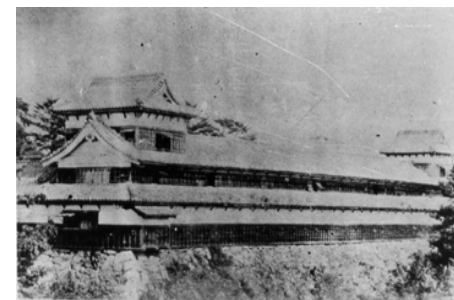
- 復元：武具櫓、裏御門、太鼓櫓、祈念櫓、扇坂など
- 修理：石垣
- 事業費：約50億円

将来像(16年～)(参考)

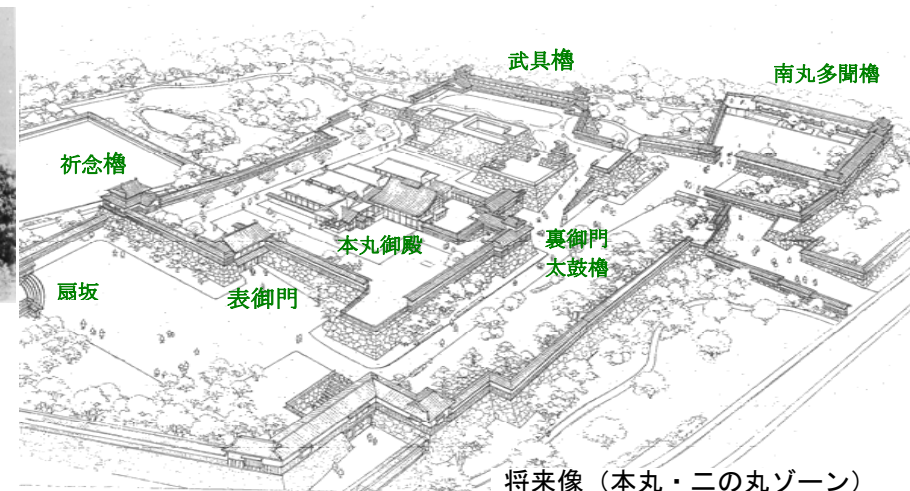
『福岡城跡を歴史資源保存・活用のシンボルに』

- 復元：花見櫓、表御門、本丸御殿など
- 修理：石垣など

福岡城跡整備基金(仮称)の創設・寄付募集 ～市民と一体となった整備の推進～



城内にあった頃の武具櫓(古写真)
福岡城最大規模の建造物
長さ約63m、三階櫓高さ約13m



将来像(本丸・二の丸ゾーン)